

(2017/03/13より)		玉野三井病院 基準範囲		備考
項目	性別	基準範囲 下限 - 上限	単位	血液検査項目の説明(参考)
白血球数		33 - 86	10 <sup>2</sup> /μl	微生物などから体を防御します。炎症や感染症などで増加します。
赤血球数	M	435 - 555	10 <sup>4</sup> /μl	赤血球は体の中で酸素を運搬する役を担います。その赤血球に含まれるタンパクがヘモグロビンです。また血液中での赤血球の割合がヘマトクリットです。これらが基準範囲より減ると貧血、多いと多血となります。
	F	386 - 492		
ヘモグロビン濃度	M	13.7 - 16.8	g/dl	
	F	11.6 - 14.8		
ヘマトクリット値	M	40.7 - 50.1	%	
	F	35.1 - 44.4		
MCV		83.6 - 98.2	fl	赤血球1個あたりの大きさです。
MCH		27.5 - 33.2	pg	赤血球1個あたりに含まれるヘモグロビンの量です。
MCHC		31.7 - 35.3	%	赤血球1個あたりのヘモグロビン濃度です。
PLT		15.8 - 34.8	10 <sup>4</sup> /μl	止血に必要な血球です。減少すると出血しやすくなります。
網状赤血球		0.8 - 2.0	%	赤血球が新しくどれくらい作られているかの目安となります。
好中球桿状核球		2.0 - 10.0	%	やや若い好中球です。強い感染があると増加します。
好中球分葉核球		38.0 - 70.0	%	成熟した好中球です。
好中球		40.0 - 80.0	%	細菌の感染や炎症があると増加します。
リンパ球		20.0 - 50.0	%	ウイルス感染や小児では高値を示します。
単球		2.0 - 10.0	%	免疫初期に重要な役割を果たします。
好酸球		0.0 - 8.0	%	アレルギーのほか、寄生虫感染などでも増加します。
好塩基球		0 - 2	%	機能はよくわかっていません。
出血時間		1 - 5	分	総合的な止血機能の検査です。
PT		9.8 - 12.1	秒	血液凝固に関する検査です。薬剤量の調整の目安にもなります。
PT-INR		0.85 - 1.15	Retio	PTを標準的な指数で表したものです。
APTT		25.5 - 36.1	秒	PTとは別経路での凝固に関する検査です。
FDP		- 10.0	μg/ml	血管内の凝固異常の目安です。
TP(蛋白)		6.6 - 8.1	g/dl	血液中のタンパク質の総量です。
ALB(アルブミン)		4.1 - 5.1	g/dl	血液中に最も多く含まれる蛋白です。栄養状態を反映します。
BS(FPG空腹時血糖)		73 - 109	mg/dl	一般に血糖として測定される、グルコースの濃度です。
HbA1c(NGSP)		4.9 - 6.0	%	過去1~3ヶ月の血糖の値を反映します。
T-CHO(総コレステロール)		142 - 248	mg/dl	血液中に含まれるコレステロールの総量です。
TG(中性脂肪)	M	40 - 234	mg/dl	コレステロールの成分です。動脈硬化に関与します。
	F	30 - 117		
HDL-C(HDLコレステロール)	M	38 - 90	mg/dl	いわゆる善玉コレステロールです。血管壁に余分に蓄積されたコレステロールを回収する働きがあります。
	F	48 - 103		
LDL-C(LDLコレステロール)		65 - 163	mg/dl	いわゆる悪玉コレステロールです。動脈硬化の原因となります。
LDL-C(計算値)		65 - 163	mg/dl	
CPK(CK)	M	59 - 248	IU/l	心筋や骨格筋に含まれる酵素です。心筋梗塞や筋肉の障害、運動後などで増加します。
	F	41 - 153		
LDH(LD)		124 - 222	IU/l	体内の多くの細胞に含まれる酵素で、細胞が壊れると増加します。
GOT(AST)		13 - 30	IU/l	細胞に含まれる酵素で、肝臓や筋肉に多く分布しています。
GPT(ALT)	M	10 - 42	IU/l	細胞に含まれる酵素で、特に肝臓に多く分布しています。炎症などで細胞が壊れると上昇します。
	F	7 - 23		
γGTP(γGT)	M	13 - 64	IU/l	胆汁の流れ(肝、胆道)に障害を生じると増加します。飲酒により増加します。
	F	9 - 32		
ALP(アルカリフォスファターゼ)		106 - 322	IU/l	肝臓、胆道、骨、胎盤、小腸に分布し、障害により増加します。
CHE(コリンエステラーゼ)	M	240 - 486	IU/l	肝臓で作られる酵素です。低栄養や肝硬変で低下するほか、有機リン農薬中毒でも低下します。
	F	201 - 421		
T-BIL(総ビリルビン)		0.4 - 1.5	mg/dl	黄疸の程度を表します。血液が壊れると増加する場合もあります。
D-BIL(直接ビリルビン)		0.0 - 0.2	mg/dl	肝・胆道に由来するビリルビンです。
NH3(アンモニア)		12.0 - 66.0	mg/dl	肝障害で上昇します。重篤になると昏睡を起すこともあります。

(2017/03/13より)		玉野三井病院 基準範囲		備考
項目	性別	基準範囲 下限 - 上限	単位	血液検査項目の説明(参考)
UA(尿酸)	M F	3.7 - 7.8 2.6 - 5.5	mg/dl	細胞を構成するプリン体が分解されたものです。通風や腎臓病、生活習慣病などの検査として測定されます。
BUN(尿素窒素)		8 - 20	mg/dl	蛋白の代謝産物です。腎障害や肉食で増加します。
CRE(クレアチニン)	M F	0.65 - 1.07 0.46 - 0.79	mg/dl	筋肉の代謝産物です。腎臓でろ過されないので、腎障害の目安となります。
eGFR		90 -	ml/min/1.73m <sup>2</sup>	クレアチニン値を利用して、腎臓のろ過値を推定します。
Na(ナトリウム)		138 - 145	mg/dl	主に食塩の形で摂取され、体内の浸透圧の調整をしています。
K(カリウム)		3.6 - 4.8	mg/dl	神経の興奮や筋肉の活動など、生命活動を調整しています。
Cl(クロール)		101 - 108	mg/dl	Naと共に浸透圧を調整します。嘔吐などで低下する場合があります。
AMY(アミラーゼ)		44 - 132	IU/l	膵臓のほか、唾液腺で作られる酵素です。組織が壊れると増加するため、膵疾患の診断に重要です。
尿AMY		80 - 702	IU/l	
Ca(カルシウム)		8.8 - 10.1	mg/dl	骨の形成や神経伝達のほか、血液凝固にも関与します。
Fe(鉄)		40 - 188	μg/dl	赤血球に多く含まれ、摂取状況により貧血を呈することもあります。
CRP(C反応性蛋白)		0.00 - 0.14	mg/dl	急性の炎症や組織崩壊の目安ですが、部位の特定はできません。
HBs抗原		(-)		B型肝炎ウイルスの感染を調べます。
HCV抗体		(-)		C型肝炎ウイルスの感染を調べます。
TP抗体		(-)		トレポネーマの感染を調べます。
リウマチ因子		- 15	U/ml	慢性関節リウマチなどの自己免疫疾患の素因を調べます。
妊娠反応			U/ml	妊娠によるホルモンの増加を調べます。
AFP(αフェトプロテイン)		- 7.0	ng/ml	主に肝臓がんに関する腫瘍マーカーです。
CEA		- 5.9	ng/ml	主に大腸ほか内臓臓器全般に関する腫瘍マーカーです。
CA19-9		- 34.4	U/ml	主に膵臓に関する腫瘍マーカーです。
PSA(前立腺特異抗原)		- 4.00	ng/ml	前立腺に特異的な腫瘍マーカーです。
TSH(甲状腺刺激ホルモン)		0.45 - 3.72	μU/ml	甲状腺を刺激しホルモンを放出させます。
FT4(遊離サイロキシン)		0.75 - 1.42	ng/dl	甲状腺から分泌されるホルモンで、機能の亢進で増加します。
インフルエンザ抗原(鼻腔拭い液)		(-)		インフルエンザの感染(A型、B型)により陽性となります。
マイコプラズマ抗原(咽頭拭い液)		(-)		マイコプラズマの感染により陽性となります。
肺炎球菌抗原(尿)		(-)		肺炎球菌の感染により陽性となります。
レジオネラ抗原(尿)		(-)		レジオネラ菌の感染で陽性となります。肺炎の検査に重要です。
ノロウイルス抗原(便)		(-)		ノロウイルスの感染により陽性となります。
O-157抗原(便)		(-)		大腸菌O-157の感染により陽性となります。
H.ピロリ抗体(血清/尿)		(-)		ピロリ菌の感染で陽性となります。過去の感染でも陽性となります。
グラム染色				喀痰や尿を染色して、病原細菌を推定します。
抗酸菌染色				結核菌などの検出目的で行う染色方法です。
尿一般検査				尿中の糖や蛋白、血液などの存在を調べます。
尿沈渣				尿中の細胞成分を調べ、詳細な分析を行います。
便潜血反応		- 50	ng/ml	消化管、特に大腸からの出血の有無を調べます。
虫卵検査(便)				寄生虫の存在を調べます。
心電図				心臓の状態を検査します。負荷をかけて検査を行う場合もあります。
ホルター心電図				24時間連続して心電図を記録する検査です。
肺気量分画				肺活量の検査です。
フローボリューム曲線				肺活量と、1秒間にどれくらい息が吐けるかを検査します。(肺年齢)
機能的残気量				肺活量とともに、肺の大きさを検査します。
肺拡散能力				肺の中での空気の拡がり方を調べます。
血圧脈波(PWV)				血管の硬さや下肢血管のつまりの状態を調べます。(血管年齢)
超音波検査				目的により、腹部、心臓、頸動脈、甲状腺や乳腺を検査します。
聴力検査				聴こえを調べる検査です。
ティンパノメトリー				鼓膜の状態を検査します。
簡易睡眠ポリグラフ				自宅にて実施する睡眠時無呼吸症候群の検査です。
睡眠ポリグラフ				詳細な睡眠障害の検査です。